



REPUBLIC OF
GAMERS

ROG STRIX
XG49VQ
SUPER ULTRA-WIDE GAMING MONITOR

ASUS

目次

通知	iii
安全上の注意	iv
留意点とお手入れについて.....	vi
1.1 ようこそ.....	1-1
1.2 本パッケージの内容.....	1-1
1.3 ディスプレイの組み立て.....	1-2
1.4 ケーブルの接続.....	1-5
1.4.1 液晶ディスプレイ背面.....	1-5
1.5 ディスプレイ各部の説明.....	1-6
1.5.1 コントロールボタンの使用	1-6
2.1 ディスプレイの調整	2-1
2.2 外形寸法.....	2-2
2.3 アーム/スタンドの取り外し (VESAウォールマウント用)	2-3
3.1 画面(OSD)メニュー.....	3-1
3.1.1 設定方法.....	3-1
3.1.2 OSD機能の概要	3-2
3.2 仕様.....	3-11
3.3 トラブルシューティング (FAQ)	3-12
3.4 対応タイミング一覧.....	3-14

Copyright © 2018 ASUSTeK COMPUTER INC. 無断複写、転載を禁じます。

購入者によるバックアップの場合を除き、ASUSTeK COMPUTER INC. (以下「ASUS社」)からの文書による明示的な許諾を得ることなく、本マニュアルに記載された製品およびソフトウェアを含む本マニュアルのいかなる部分も、いかなる形態または方法によっても無断で複製、送信、複写、情報検索システムへの保管、翻訳することは禁止されています。

以下の場合、製品保証やサービスを受けることができません: (1) 製品に対し、ASUS社によって文書により認定された以外の修理、改造、変更がおこなわれた場合。 (2) 製品のシリアル番号が傷ついたり失われたりしている場合。

ASUS社は本書を「現状のまま」提供するものであり、市販性、特定目的との適合性に関する黙示の保証または条件を含む(ただし必ずしもこれらに限定されない)明示または暗示の保証を一切いたしません。ASUS社、同社の責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品の不具合から損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、いかなる間接的、直接的、偶発的、二次的な損害(利益の損失、取引上の損失、データの損失、業務の中断などを含む)に対し責任を負わないものとします。

本書の製品仕様や情報は参照のみを目的として提供されるもので、随時、予告なく変更される場合があります。ASUS社による確約として解釈されるものではありません。本書に記載された製品およびソフトウェアを含む、本書の内容に不具合や誤りがあったとしても、ASUS社は一切責任を負いません。

本書に記載のある製品名および商号は、各社の所有する登録商標または著作権である場合があります。本書ではこれらを特定および説明のために使用しており、それらを侵害する意図はありません。

通知

FCC(米国連邦通信委員会) 規定の適合宣言

本装置は米国連邦通信委員会 (FCC) 規定第 15 部に準拠しています。本装置の操作は以下の 2 つの条件を前提としています：

- 本装置は有害な電波障害を引き起こしてはならない。
- 本装置は、誤動作を引き起こしうる電波障害を含め、いかなる電波障害も容認しなければならないこと。

本装置は、FCC 規定第 15 部によるクラス B デジタル装置の規制に準拠することが試験により確認されています。これらの規制は、住居に設置した場合の有害な電波障害に対する適正な保護を提供することを目的としたものです。本装置は無線周波エネルギーを生成、使用し、放射しうるため、説明書の記載どおりに設置、使用しない場合には、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置方法において電波障害が発生しないという保証はありません。本装置の電源のオン/オフを切り替えることにより、本装置が無線またはテレビの受信に有害な電波障害を引き起こしていることが確認された場合は、電波障害を修正するために次の対処方法のうちいくつかをお試しください：

- 受信アンテナの向きや設置場所を変える。
- 本装置を受信機から離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路にコンセントを接続する。
- 販売店または無線機/テレビの専門技術者に問い合わせる。



FCC 規制への準拠を保証するために、モニターをグラフィックスカードに接続するためにシールドケーブルを使用する必要があります。準拠の責任者から明示的に承認されていない変更または改変を本装置に行うと、本装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

カナダ通信省規制の適合宣言

本デジタル装置は、カナダ通信省の電波障害規制で規定されている、デジタル装置からの電波ノイズ放射に関するクラス B 制限を超えません。

本クラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

本クラス B デジタル装置は、カナダの妨害装置規則のすべての要件を満たしています。

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouiller du Canada.

安全上の注意

- ・ ディスプレイのセットアップをおこなう前に、本製品に付属しているすべての説明書をよくお読みください。
- ・ 火事や感電の危険を予防するため、ディスプレイを雨や湿気にさらさないでください。
- ・ ディスプレイのキャビネットは決して開けないでください。ディスプレイ内部には危険な高電圧が通っており、重症を負う恐れがあります。
- ・ 電源供給部が破損した場合は、ご自分で修理を試みないでください。その場合、正規のサービス技師または販売店にお問い合わせください。
- ・ 本製品をご使用になる前に、すべてのケーブルが正しく接続されており電源コードが損傷していないことをご確認ください。何らかの損傷を発見した場合は、ただちにお買い上げ店までご連絡ください。
- ・ キャビネット背面または上部にある細長い隙間および開口部は通気孔です。これらの穴をふさがないでください。適度な通気を確保していない状態で、本製品をラジエータや熱源のそばまたは上に置かないでください。
- ・ ディスプレイの稼動には、ラベルに表示されたタイプの電源のみをご使用ください。ご家庭の電源タイプが不明な場合は、お買い上げ店または地域の電力会社までお問い合わせください。
- ・ お住まいの地域の電力標準に従って、適切な電源プラグをご使用ください。
- ・ OAタップや延長コードに過度の電流負荷をかけないでください。過重電流は感電を引き起こす恐れがあります。
- ・ 埃、湿気、高温や低温を避けてください。ディスプレイを水がかかると恐れのある場所に置かないでください。また、ディスプレイは安定した平面に置いてください。
- ・ 雷雨時、または長期にわたって使用しない場合は、装置の電源コードを抜いておいてください。これは、電力サージによる損傷からディスプレイを守るためです。
- ・ ディスプレイのキャビネット開口部に、異物を押し込んだり液体をこぼしたりしないでください。
- ・ 万全の動作を保証するため、本ディスプレイは100~240V ACと記され正しく構成されたレセプタクルを持つ、ULリスト記載のコンピュータでのみご使用ください。
- ・ 手がすぐ届くように、壁コンセントの傍に機器を設置してください。
- ・ ディスプレイに技術的な問題が発生した場合は、正規の修理業者にお問い合わせください。
- ・ 主電源プラグをコンセントに接続する前に、アース接続を行ってください。アース接続を切断する場合は、主電源プラグをコンセントから抜いた後で行ってください。
- ・ DELTA アダプターの ADP180MB をご利用ください。

警告

指定されたヘッドホンまたはイヤホン以外の使用は、過剰な音圧により難聴になる恐れがあります。

有害物質制限声明 (インド)

この製品は “India E-Waste (Management) Rules, 2016” に準拠しており、濃度が鉛、水銀、6 価クロム、PBB (ポリ臭化ビフェニル)、PBDE (ポリ臭化ジフェニルエーテル) の場合は 0.1wt% を、カドミウムの場合は 0.01wt% を超えるとき、その使用を禁止します。例外はルールの別表 2 に記載されています。

中国製

HDMITM
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

EAC

留意点とお手入れについて

- ・ ディスプレイを持ち上げたり移動したりする際は、あらかじめケーブルや電源コードを抜いておくことをお勧めします。ディスプレイを設置する際は、正しいやり方で持ち上げてください。ディスプレイを持ち上げたり持ち運んだりする際は、本体の縁をつかむようにしてください。スタンドやコードでディスプレイを持ち上げないでください。
- ・ お手入れ方法。ディスプレイをオフにし、電源コードを抜きます。ディスプレイ表面を、汚れのない柔らかい布で拭きます。頑固な汚れには中性クリーナーで湿らせた柔らかい布をお使いください。
- ・ アルコールやアセトン入りのクリーナーは使用しないでください。液晶ディスプレイ専用クリーナーをご使用ください。クリーナーを画面に直接吹き付けることは絶対にしないでください。クリーナー液がたれてディスプレイ内部に入り込むと、感電を引き起こす恐れがあります。



車輪付きのゴミ箱に×を付けたこの記号は、製品(電気、電子機器、水銀含有ボタン電池)を一般廃棄物入れるべきではないことを示しています。電子製品の廃棄に関する地域の規制を確認してください。

AEEE yönetmeliğine uygundur

以下の症状は、ディスプレイの正常な状態です：

- ・ 初期のご使用中に、画面にちらつきが起こることがありますが、これは蛍光灯の性質によるものです。電源を切り再度入れ直すことで、画面のちらつきはなくなります。
- ・ ご使用のデスクトップパターンによって、画面の輝度にむらがあるように感じる場合があります。
- ・ 同じ画像が何時間にも渡って表示され続けると、別の画像に変えた後でも前の画像の残像が残る場合があります。この場合、画面はゆっくり回復していきます。または電源をオフにして数時間すると直ります。
- ・ 画面が真っ黒になったりフラッシュしたり、あるいは動作しなくなった場合は、販売店またはサービスセンターに修理を依頼してください。画面をご自分で修理しないでください。

本マニュアルのルール



警告：作業をおこなう上で、怪我の発生を防ぐための注意事項です。



注意：作業をおこなう上で、部品の損傷を防ぐための注意事項です。



重要：作業をおこなう際に従うべき注意事項です。



注：作業にあたってのヒントや補足情報です。

本書に記載された以外の情報を閲覧するには

追加情報や、製品およびソフトウェアのアップデートについては、以下の情報元を参照してください。

1. ASUS社ホームページ

ASUS 社ホームページでは、世界中に向けて ASUS 社のハードウェアおよびソフトウェア製品の最新情報を提供しています。

<http://www.asus.com> を参照してください。

2. オプション文書

お買い上げの製品パッケージには、販売業者によって追加されたオプション文書が同梱されている場合があります。これらの文書は標準パッケージの一部ではありません。

重要:本製品付属の AC アダプターおよび／または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。

付属の AC アダプターおよび／または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障・事故の原因となります。

1.1 ようこそ

ASUS® 液晶ディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ASUS 社の最新型ワイド画面液晶ディスプレイは、より鮮明で幅広い高発色ディスプレイに加え、便利な機能を搭載しています。

これらの機能により、本ディスプレイがお届けする便利で快適なビジュアル体験がお楽しみいただけます。

1.2 本パッケージの内容

お手元のパッケージに、以下のものが入っていることを確認してください：

- ✓ 液晶ディスプレイ
- ✓ ディスプレイスタンド
- ✓ ディスプレイベース
- ✓ クイックスタートガイド
- ✓ 保証カード
- ✓ 1x 電源コード
- ✓ 1x HDMI ケーブル
- ✓ 1x DP ケーブル
- ✓ 1x 電源アダプタ
- ✓ 1x USB 3.0 ケーブル
- ✓ VESA カバー
- ✓ VESA キット



-
- 上記アイテムが損傷したり紛失した場合は、ただちに販売店までご連絡ください。
-

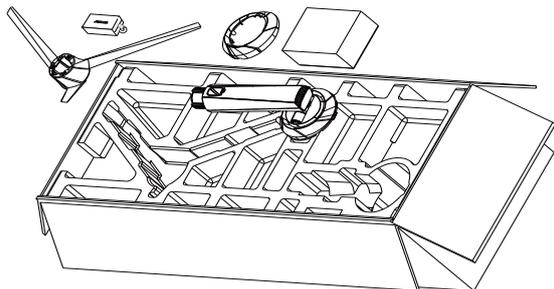
1.3 ディスプレイの組み立て

ディスプレイの組み立て:

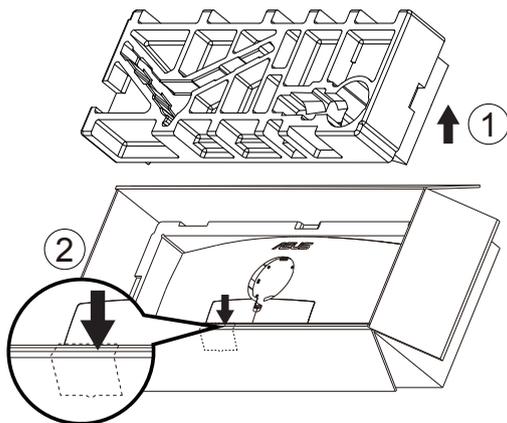


- モニターアーム/ベースを組み立てる際には、モニターを EPS (カートン箱) 梱包内に保持することをお勧めします。

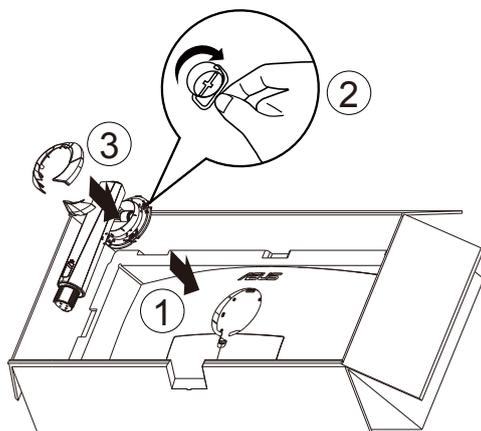
1. 上側の EPS からすべての付属品を取り出します。



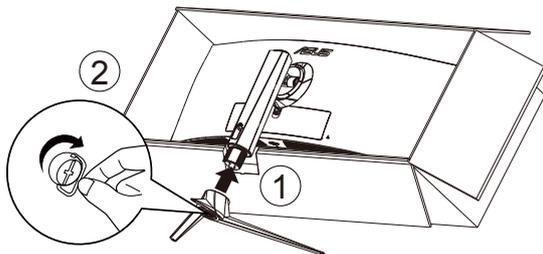
2. カarton箱から上側の EPS を取り出し、スタンドアセンブリの穴を開けます。



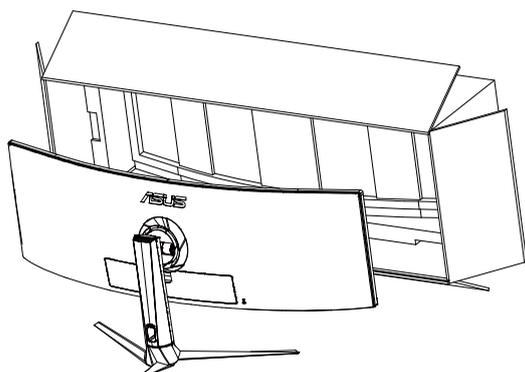
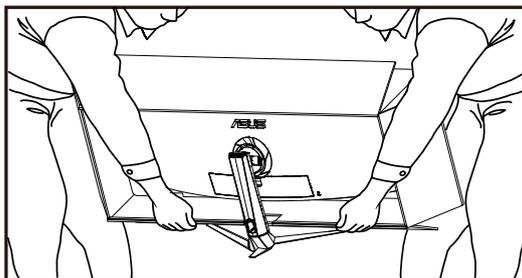
3. ディスプレイのネジ穴とアームのネジを合わせます。次に、アームをディスプレイに挿入します。
 - 3.1 アームを取り付けます。
 - 3.2 ネジを締めます。
 - 3.2 VESA カバーを取り付けます。



4. 付属のネジを締めてベースをアームに固定します。

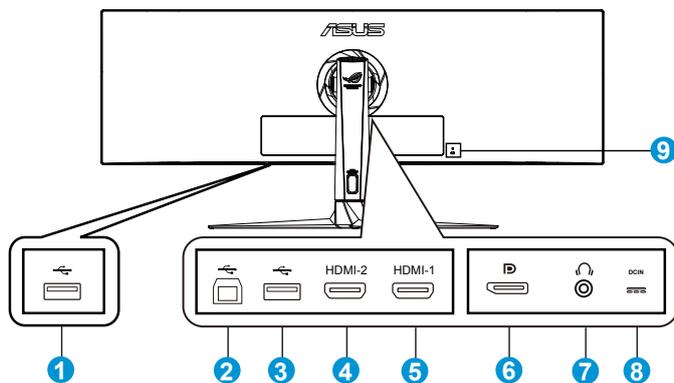


5. 梱包とモニターを一緒に持ち上げ、次に、モニターのベースが平らな床または机の上に安全に立てることを確認してください。最後にEPSと段ボール箱の梱包を取り除いてください



1.4 ケーブルの接続

1.4.1 液晶ディスプレイ背面

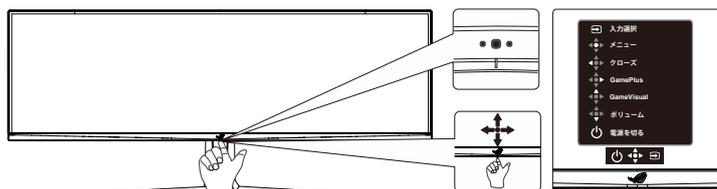


1. USB ダウンストリームポート
2. USB アップストリームポート
3. USB ダウンストリームポート
4. HDMI2.0 ポート
5. HDMI2.0 ポート
6. DisplayPort
7. イヤホン端子
8. DCインポート
9. Kensington ロック

1.5 ディスプレイ各部の説明

1.5.1 コントロールボタンの使用

ディスプレイ下部のコントロールボタンを使用して、モニター設定を調整します。



1. 電源インジケータ:

- 電源インジケータの色は、下の表のように定義されています。

状態	説明
白	オン
黄色	スタンバイモード
オフ	オフ

2. 電源ボタン:

- ディスプレイ電源のオン/オフを切り替えるにはこのボタンを押します。ディスプレイの電源が切れているときに、いずれかのキーを押すとディスプレイの電源が入ります。

3. ボリュームボタン:

- これはショートカットキーです。デフォルト設定はボリュームです。

4. GameVisual:

- これはショートカットキーです。デフォルト設定は GameVisual です。

5. GamePlus ボタン:

- これはショートカットキーです。デフォルト設定は GamePlus です。
- GamePlus:** GamePlus機能は、ツールキットを提供し、様々なタイプのゲームをプレーするときに、ユーザーのためのより良いゲーム環境を作成します。特に、十字線機能は、特別にファーストパーソンシューター (FPS) ゲームに興味ある新しいゲーマーや初心者のために設計されています。

GamePlusを有効化するには:

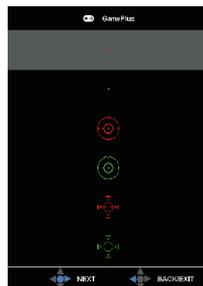
- GamePlus** ボタンを押し、GamePlus のメインメニューに入ります。

- ・ 十字線、タイマー、FPS カウンターまたはディスプレイ整列機能を有効化します。
- ・  ボタンを上/下に動かして、選択し、 を押して、必要な機能を確認します。 を押して、オフにして終了します。
- ・ 十字線/タイマー/FPS カウンターは、 5 ウェイキーを押すことにより移動可能です。

GamePlusメインメニュー



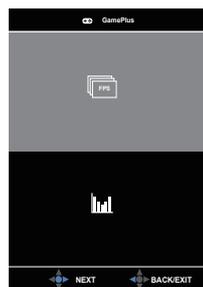
GamePlus-十字線



GamePlus-タイマー



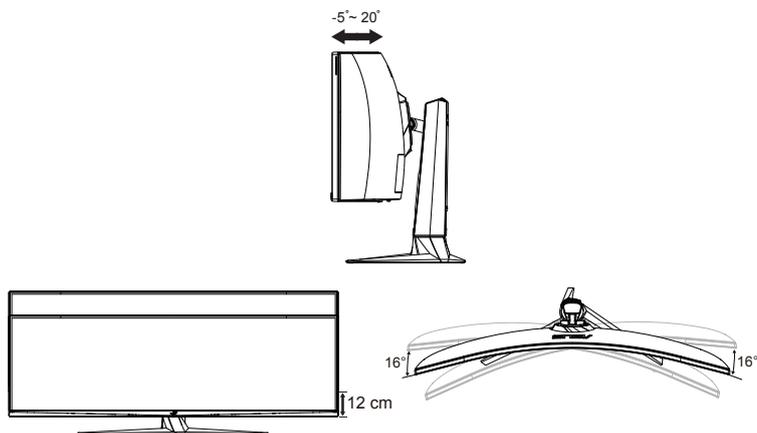
GamePlus-FPS カウンター



6.  クローズボタン
 - ・ OSDメニューを終了します。
7.  メニューボタン
 - ・ これはメニューホットキーです。選択して、メインメニュー OSD を開きます。
8.  入力選択ボタン:
 - ・ これはショートカットキーです。デフォルト設定は入力選択です。入力選択ホットキーを使用して、「HDMI-1」、「HDMI-2」または「DisplayPort」から切り替えます。

2.1 ディスプレイの調整

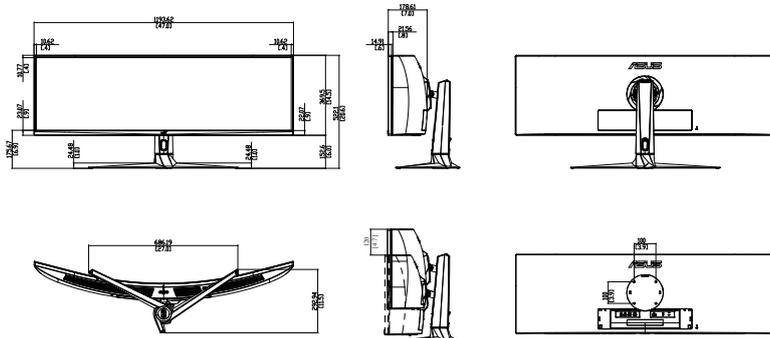
- ・ 快適にご使用いただくために、ディスプレイに向かったときに画面がよく見える角度に調節しておくことをお勧めします。
- ・ 角度を変える際は、ディスプレイが落ちないようにスタンド部を押さえながらおこなってください。
- ・ ディスプレイの角度は、 -5° ～ 20° の間で調節可能です。また、左右 16° のスイベル調整が可能です。ディスプレイの高さは ± 12 cmの間で調節可能です。



視角を調整する間ディスプレイが微かに振動するのは異常なことではありません。

2.2 外形寸法

単位：mm [インチ]



2.3 アーム/スタンドの取り外し (VESAウォールマウント用)

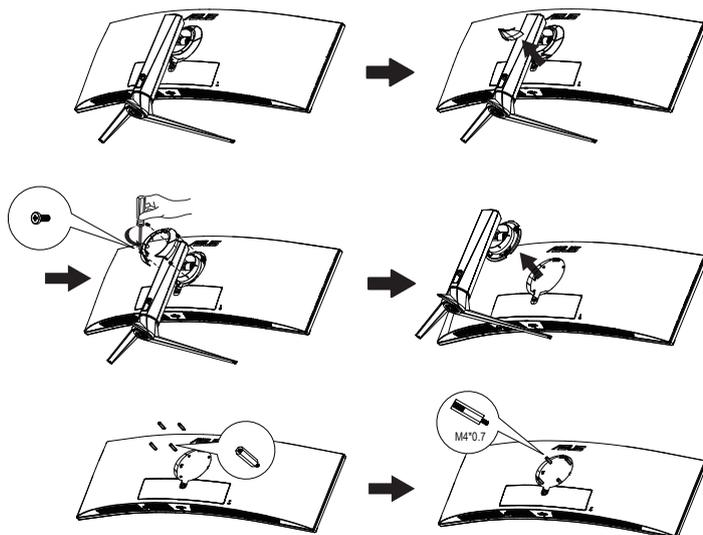


- モニター表面を傷つけないでください。モニタースタンドを取り外すときは、モニターを常に EPS 梱包内に入れてください。

当ディスプレイの取り外し可能スタンドは、VESA ウォールマウント専用設計されたものです。

アーム/スタンドの取り外し

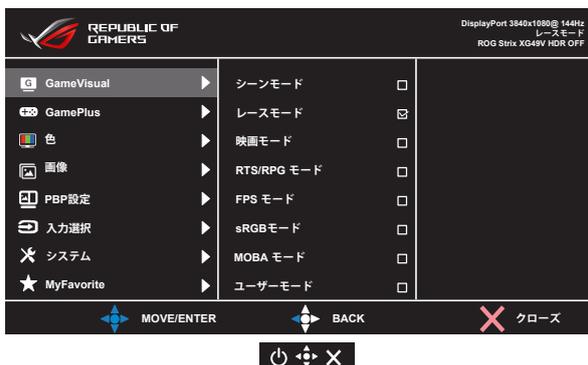
1. 電源コードと信号ケーブルを抜きます。モニターを上向きにして EPS 梱包に慎重に置きます。
2. モニターとアームが接触する場所のカバーを取り外します。
3. アームをモニターの背面に固定している 4 本のネジを外します。
4. モニターからスタンド (アームおよびベース) を取り外します。



- VESAウォールマウントキット (100 x 100 mm) は別売りです。
- UL リストに記載された重量/荷重が 28.8 kg 以上 (ネジ寸法: M4 x 10 mm) のウォールマウントブラケットのみをご使用ください。

3.1 画面 (OSD) メニュー

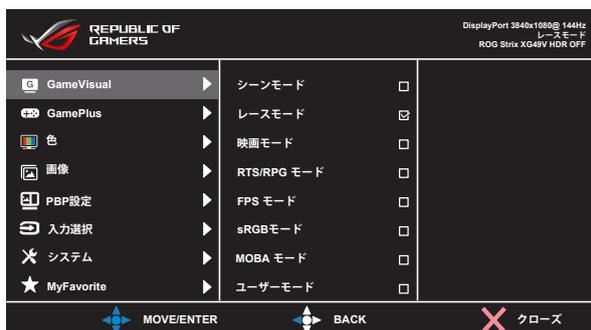
3.1.1 設定方法



1. 5 ウェイボタンの中央ボタンを押すと、OSD メニューが表示されます。
2. 上キーと下キーを押し、メニューのオプションを切り替えます。あるアイコンから別のアイコンに移動すると、オプション名が強調表示されます。
3. 強調表示されている項目をメニューから選択するには、右キーまたは中央ボタンを押します。
4. 上キーと下キーを押し、目的のパラメーターを選択します。
5. 右キーまたは中央ボタンを押してスライダーに移動し、上または下キー (メニューのインジケーターによって異なります) で変更します。
6. 左キーを押すと、前のメニューに戻ります。

3.1.2 OSD機能の概要

1. GameVisual

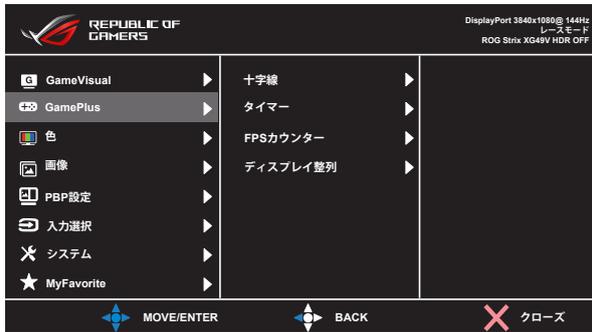


- **シーンモード**: GameVisual™ Video Intelligence Technology を使用した風景写真の表示に最適なモードです。
- **レースモード**: GameVisual™ Video Intelligence Technology を使用したレースゲームに最適なモードです。
- **映画モード**: SPLENDID™ Video Intelligence Technology を使用した映画鑑賞に最適なモードです。
- **RTS/RPG モード**: これは、GameVisual™ Video Intelligence Technology で実行されるリアルタイム戦略 (RTS)/ロールプレイングゲーム (RPG) に最適です。
- **FPS モード**: GameVisual™ Video Intelligence Technology を使用したファーストパーソンシューターゲームに最適なモードです。
- **sRGBモード**: パソコンから写真や画像を見るのに最適なモードです。
- **MOBA モード**: GameVisual™ Video intelligence Technology を使用する Multiplayer Online Battle Arena (MOBA) ゲームに最適です。
- **ユーザーモード**: 色メニューではさらに多くの項目が調節可能です。



- レースモードで、彩度、鮮明度、ASCR 機能はユーザーによる設定変更ができません。
- sRGB モードでは、彩度、カラー、鮮明度、明るさ、コントラスト、ASCR 機能はユーザーによる設定変更ができません。
- MOBA モードで、彩度、鮮明度、ASCR 機能はユーザーによる設定変更ができません。

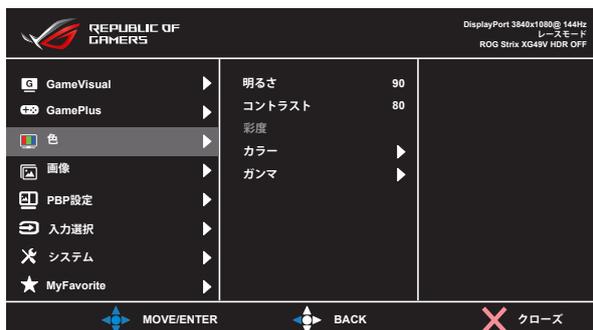
2. GamePlus



- **十字線:** 十字線機能を有効化します。
- **タイマー:** タイマー機能を有効化します。
- **FPSカウンター:** FPS カウンター機能を有効化します。
- **ディスプレイ整列:** ディスプレイ整列機能を有効化します。

3. 色

この機能では、好みの画像カラーを選択します。



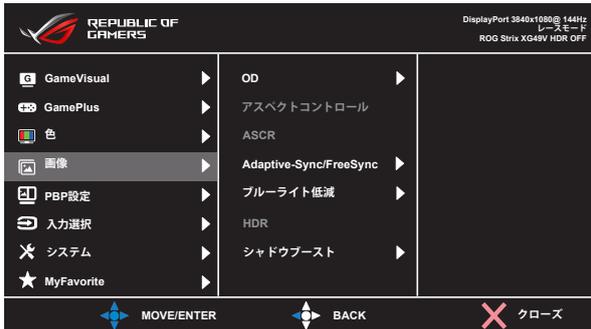
- **明るさ**：0～100の範囲で調節可能です。
- **コントラスト**：0～100の範囲で調節可能です。
- **彩度**：0～100の範囲で調節可能です。
- **カラー**：3種のプリセットカラーモード（「冷たい」、「通常」、「暖かい」）と「ユーザーモード」があります。
- **ガンマ**：1.8、2.2、2.5 を含む 3 つのガンマモードが含まれます。



-
- ユーザーモードでは、赤、緑、青の色みのユーザー設定が可能です。0～100の範囲で調整します。
-

4. 画像

このメイン機能から、OD、アスペクトコントロール、Adaptive-Sync/FreeSync、ブルーライト低減、HDR およびシャドウブーストを調整できます。



- **OD:** オーバードライブ技術により、応答速度をはやめます。レベル 0～レベル 5 を含みます。
- **アスペクトコントロール:** アスペクト比を「フル画面」および「4:3」の間で切り替えられます。
- **ASCR:** 「オン」または「オフ」を選択して、ダイナミックコントラスト比機能を有効化/無効化します。
- **Adaptive-Sync/FreeSync:** Adaptive-Sync/FreeSync 対応のグラフィックスソースで、一般的なコンテンツフレームレートに基づいてリフレッシュレートを動的に調整することを可能にします。電力効率に優れ、映像のカクツキがなく、ディスプレイ更新の待ち時間が少なくなります。FreeSync は、HDMI モードで 48 ～ 100 Hz をサポートします。FreeSync は、DP モードで 48 ～ 144 Hz をサポートします。
- **ブルーライト低減:** LED バックライトから発せられるブルーライトのエネルギーレベルを調整します。
- **HDR:** 高ダイナミックレンジ。3 つの HDR モード (ASUS Cinema HDR、ASUS Gaming HDR および FreeSync2 HDR) が含まれます。AMD FreeSync2 HDR ビデオに接続すると、HDR 項目がロックされます。(FreeSync 2 HDR は HDMI@120Hz ではサポートされていません)
- **シャドウブースト:** ダークカラーエンハンスメントは、ディスプレイのガンマカーブを調整して、画像のダークトーンを豊かにし、暗いシーンやオブジェクトを見つけやすくします。



- 4:3 を選択すると、入力ソースの元のアスペクト比に従って画像が表示されます。



-
- ブルーライト低減が有効になると、レースモードの初期設定が自動的にインポートされます。
 - レベル 1 ～ レベル 3 の間では、明るさ機能をユーザーが設定できます。
 - レベル 4 が最適な設定です。TUV 低ブルーライト認定に準拠します。ユーザーは明るさ機能を設定できません。

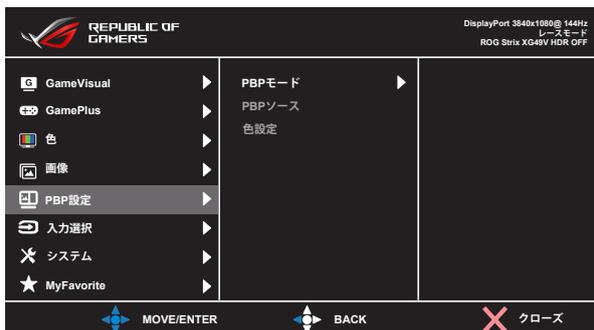


以下を参照し、眼の緊張を緩和してください。

- 長時間作業している場合、しばらくの間、ディスプレイから離れてください。1 時間コンピューターで連続して作業したら、短い休み (5 分以上) を取ることが推奨されます。短い休み時間を頻繁に取ることは、長い休み時間を 1 回取ることより効果があります。
 - 眼の緊張と乾きを最小限に抑えるために、ときどき遠くの物体を見つめて眼を休めてください。
 - 眼の運動は眼の緊張緩和に役立ちます。次の運動を頻繁に行ってください。眼の疲れが取れない場合、医師にご相談ください。眼の運動: (1) 上下に繰り返し視点を移動します。(2) ゆっくり眼を回します。(3) 視線を斜めに動かします。
 - 強いブルーライトは疲れ目や加齢黄斑変性 (AMD) の原因になる可能性があります。ブルーライト低減は有害なブルーライトを最大 70% 減らし、コンピュータービジョン症候群 (CVS) 予防になります。
-

5. PBP設定

PBP 設定により、任意のビデオソースから接続されているサブウィンドウを開くことができます。



この機能を有効化することで、このディスプレイに任意のビデオソースからの2つまたは3つの映像を表示することができます。

- **PBPモード:** PBPx2 または PBPx3 を選択するか、オフに切り替えます。
- **PBPソース:** ビデオ入力ソースを「HDMI-1」、「HDMI-2」または「DisplayPort」、から切り替えます。
- **色設定:** 各 PBP ウィンドウに GameVisual モードを設定します。

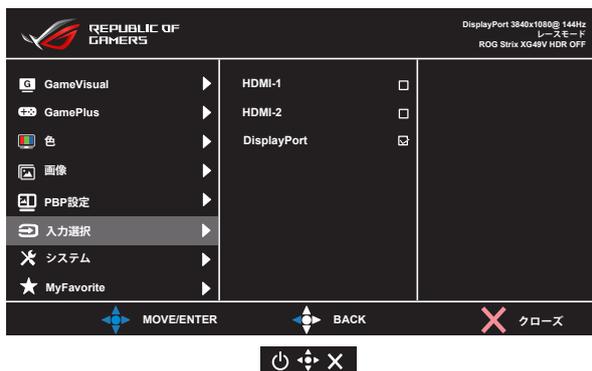


- PBP 機能をオンにすると、Adaptive-Sync/FreeSync と HDR 機能が無効になります。
- PBP 機能は 60Hz 以下でサポートされています。

6. 入力選択

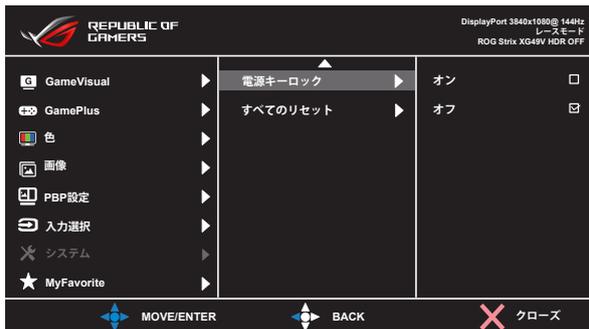
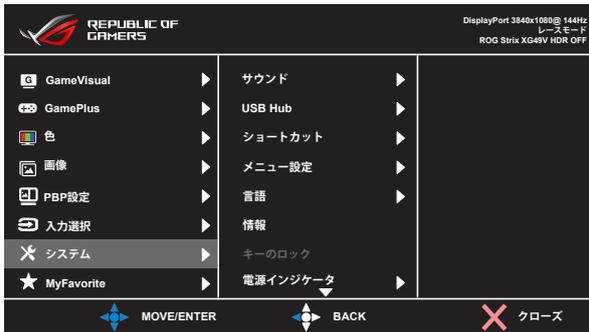
入力ソースの選択：

- HDMI-1、HDMI-2 および DisplayPort



7. システム

システム設定を調整します。

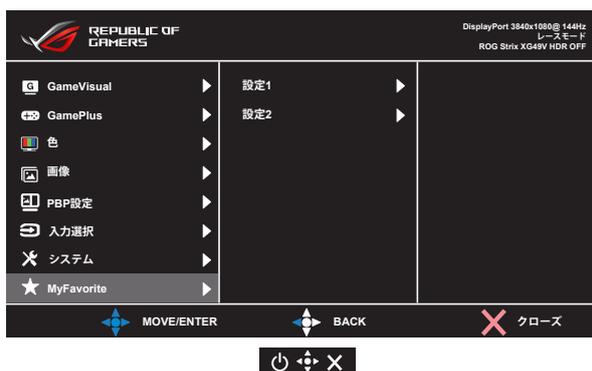


- **サウンド:** 「ボリューム」を選択して、出力ボリュームレベルを調整します。「ミュート」を選択して、出力ボリュームをミュートします。「音源」を選択して、音源を選択します。
- **USB Hub:** スタンバイモード中の USB Hub 機能のオン/オフを切り替えます。
- **ショートカット:** このオプションを選択することで、ショートカットキーを設定することができます。
- **メニュー設定:** メニュー タイムアウト、DDC/CIおよびメニュー画面の透明を調整します。
- **言語:** メニュー言語を選択します。以下の選択肢があります：**英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、ロシア語、ポーランド語、チェコ語、クロアチア語、ハンガリー語、ルーマニア語、ポルトガル語、トルコ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、ペルシャ語、タイ語、インドネシア語。**
- **情報:** ディスプレイ情報を表示します。

- **キーのロック:** すべてのキー機能を無効にします。下ボタンを 5 秒間以上押すことにより、キーロック機能を無効にします。
- **電源インジケータ:** 電源LEDインジケータのオン/オフを切り替えます。
- **電源キーロック:** 電源キーを無効/有効にします
- **すべてのリセット:** すべての設定を工場出荷時のデフォルトモードに戻すには、「はい」を選択します。

8. MyFavorite

ディスプレイのすべての設定を読み込みます / 保存します。



3.2 仕様

モデル	XG49VQ
パネルサイズ	49"W (124.46 cm)
最大解像度	3840 x 1080
明るさ(標準)	450ニット (標準)
Intrinsicコントラスト比(標準)	3000:1
視角 (CR>10)	178°(V) /178°(H)
ディスプレイカラー	1.07B (8bit + 2FRC)
応答速度	4 ms (G → G)
HDMIサウンド	はい
HDMI入力	HDMI2.0 x 2
DisplayPort入力	はい
PBP	はい
USB3.0 ポート	アップストリーム x1、ダウンストリーム x2 (アップストリームのリンクがない場合、USB ポートに電源充電はありません)
イヤホン	はい
スピーカー	5 W x 2
電源ON時の消費電力	< 47 W* (オーディオ/USB /カードリーダー接続なしで 200 ニットの画面輝度を測定)
シャーシの色	黒
省電力モード	< 0.5W
電源オフモード	< 0.5W
チルト	-5° ~ 20°
外形 スタンドを含む寸法 (幅 x 高 x 奥行)	1193.33 x 529.10 x 344.74 mm
外形 スタンドを含まない寸法 (幅 x 高 x 奥行)	1193.33 x 369.7 x 178.43 mm
梱包サイズ(幅×高×奥行)	1308 x 484 x 370 mm
スタンドを含む本体重量 (目安)	13.3 kg
スタンドを含まない本体重量 (目安)	9.7kg
総重量(目安)	20.9 kg
定格電圧	AC 100~240V(内蔵)
温度 (操作)	0°C ~ 40°C

3.3 トラブルシューティング(FAQ)

問題	可能な解決方法
電源LEDが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">・ Oボタンを押して、ディスプレイの電源がオンになっているかどうか確認してください。・ 電源コードがディスプレイとコンセントに正しく接続されているかどうか確認してください。・ メインメニューで電源インジケータ機能を確認します。「オン」を選んで、電源LEDをオンにします。
黄色の電源LEDが点灯しているのに画面に何も表示されない	<ul style="list-style-type: none">・ ディスプレイとコンピュータの電源がオンになっているかどうか確認してください。・ 信号ケーブルがディスプレイとコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。・ 信号ケーブルのピンが曲がっていないか確認してください。・ コンピュータを別のディスプレイ(あれば)に接続してみて、コンピュータが正しく動作しているかどうか確認してください。
映像が明るすぎる、または暗すぎる	<ul style="list-style-type: none">・ メニューからコントラストと明るさ設定を調整してください。
映像がバウンスする、または映像に波模様が現れる	<ul style="list-style-type: none">・ 信号ケーブルがディスプレイとコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。・ 電気障害を引き起こしている可能性のある電気機器をディスプレイから離してください。
映像の色彩に異常がある(白色が白く見えない)	<ul style="list-style-type: none">・ 信号ケーブルのピンが曲がっていないか確認してください。・ メニューをリセットしてください。・ メニューで赤/緑/青の色設定を調整するか、カラーを選択してください。
映像が白い霧のように見える	<ul style="list-style-type: none">・ PBP モードは HDR をサポートしません。ソース側の HDR 機能をオフにするか PBP モードをオフにしてから、映像が正常かどうか確認してください。
音が出ない、または音が小さい	<ul style="list-style-type: none">・ ディスプレイ側とコンピュータ側両方のボリューム設定を調整してください。・ コンピュータのサウンドカードドライバが正しくインストールされ、有効化されていることを確認してください。・ オーディオソースを確認してください。

<p>以下の機能は自動的に無効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Adaptive-Sync/FreeSync • HDR デコード 	<ul style="list-style-type: none"> • PBP モードを設定すると、Adaptive-Sync/FreeSync と HDR デコードは自動的に無効になります。 • PBP モードをオフにした後、Adaptive-Sync/FreeSync を選択できます。 • HDR デコードは、PBP オフモードで自動的に有効になります。
<p>PBP モードは自動的に無効になります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • PBP モードは 60Hz 以下で使用されます。入力垂直周波数が 60Hz を超える場合は、PBP モードは自動的にオフになります。 • 入力ビデオの垂直周波数を 60Hz に変更してから、PBP モードをもう一度設定してください。
<p>PBP モードでは、画像が全画面表示になりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 次のように解像度を PBP ウィンドウサイズに設定します： <ul style="list-style-type: none"> ■ ■ ■ モードでは 1920x1080@60Hz。 ■ ■ ■ または ■ ■ ■ モードの大きいウィンドウでは 2560x1080@60Hz。 ■ ■ ■ または ■ ■ ■ モードの小さいウィンドウでは 1280x1080@60Hz。 ■ ■ ■ モードでは 1280x1080@60Hz。 • PC と OSD で解像度を確認してください。同じでない場合は、グラフィックスカードの拡大縮小を無効にします。 • OSD の解像度は左端のウィンドウです。ウィンドウが左端のウィンドウでない場合は、入力ソースを左端のウィンドウに設定して解像度を確認してください。

3.4 対応タイミング一覧

DP

	対応タイミング表
1	640x480@60Hz
2	640x480@67Hz
3	640x480@72Hz
4	640x480@75Hz
5	720x400@70Hz
6	800x600@56Hz
7	800x600@60Hz
8	800x600@72Hz
9	800x600@75Hz
10	1024x768@60Hz
11	1024x768@70Hz
12	1024x768@75Hz
13	1152x864@75Hz
14	1280x720@60Hz
15	1280x960@60Hz
16	1280x1080@60Hz
17	1280x1024@60Hz
18	1440x900@60Hz
19	1680x1050@60Hz
20	1920x1080@50Hz
21	1920x1080@60Hz
22	2560x1080@60Hz
23	3840x1080@60Hz
24	3840x1080@120Hz
25	3840x1080@144Hz
26	480P@60Hz
27	576P@50Hz
28	720P@50Hz
29	720P@60Hz
30	720P@120Hz
31	1080P@50Hz
32	1080P@60Hz
33	1080P@120Hz

HDMI

	対応タイミング表
1	640x480@60Hz
2	640x480@67Hz
3	640x480@72Hz
4	640x480@75Hz
5	720x400@70Hz
6	800x600@56Hz
7	800x600@60Hz
8	800x600@72Hz
9	800x600@75Hz
10	1024x768@60Hz
11	1024x768@70Hz
12	1024x768@75Hz
13	1152x864@75Hz
14	1280x720@60Hz
15	1280x960@60Hz
16	1280x1080@60Hz
17	1280x1024@60Hz
18	1440x900@60Hz
19	1680x1050@60Hz
20	1920x1080@50Hz
21	1920x1080@60Hz
22	2560x1080@60Hz
23	3840x1080@60Hz
24	3840x1080@100Hz
25	3840x1080@120Hz
26	480P@60Hz
27	576P@50Hz
28	720P@50Hz
29	720P@60Hz
30	720P@120Hz
31	1080P@50Hz
32	1080P@60Hz
33	1080P@120Hz

* 上記リストに記載されていないモードはサポートされていない可能性があります。最適な解像度を得るために、リストに記載されているモードをお選びになることを推奨します。